

Weekly Market Report

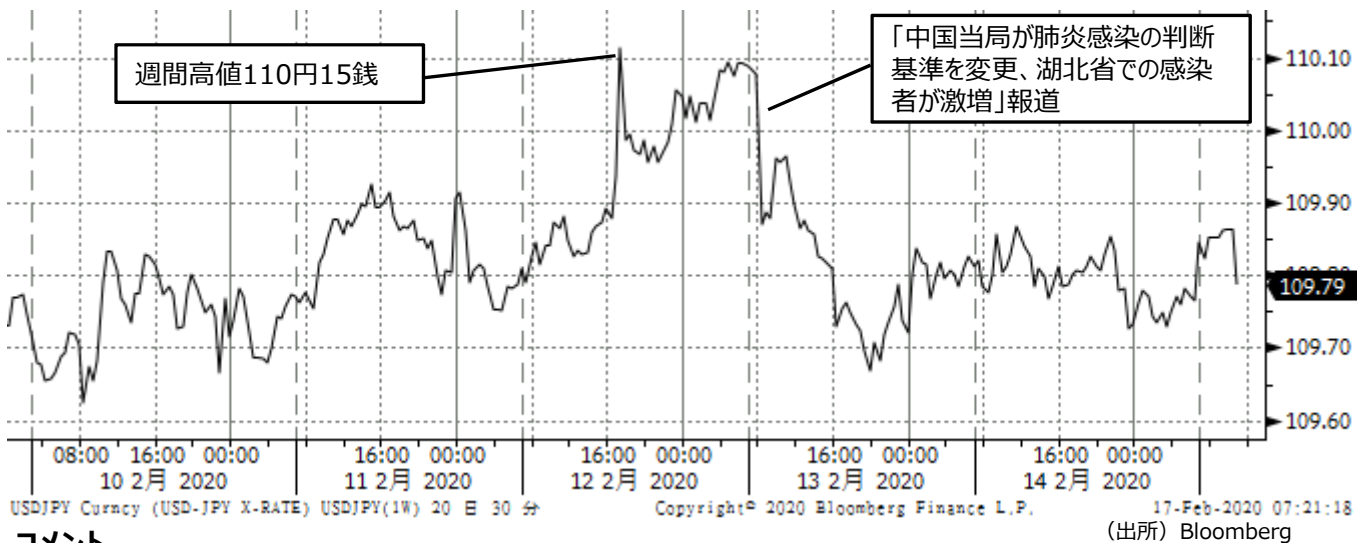
Feb 17, 2020

FX, JPY Interest Rate, Topics

1. 為替相場概況

マーケットへの影響が小さくなってきた肺炎関連報道。引き続き動意の乏しい展開となろう。

USD/JPY (1週間の値動き)



コメント

先週のドル円相場は、新型肺炎の拡散懸念が漂う中、109円台半ばから110円台前半での狭いレンジで推移した。週初に109円台半ばをつけたドル円相場は、米株最高値更新・米金利上昇や「中国で肺炎感染者の拡大ペースが鈍化」との報道を受けてドル高円安に進行、週半ばには心理的な節目である110円台へ到達した。その後は、「中国当局が肺炎感染の判断基準を変更し、湖北省での感染者が激増した」との報道を受け、ドル円相場は一転してドル安円高に進行するも、米 CPI・新規失業保険申請件数ともに堅調な数字であったこともあり、結果109円台半ばにて越週した。今週のドル円相場は、引き続き動意の乏しい展開を予想。ここまで連日のように新型肺炎の感染状況が報道されているが、徐々にマーケットに与える影響が薄れており、今後新たな局面に進展しない限り、動意に乏しい展開が続くとみられる。
(市場営業部/山添)

今週の経済指標 (予定)

日付	イベント	予想
2/18(火)	(米国) NY連銀製造業景気指数	5.0
2/19(水)	(米国) 住宅着工件数	1,420K
2/20(木)	(米国) FOMC議事録公開	-
2/21(金)	(米国) FF連銀景気動向指数	210K
2/21(金)	(米国) 新規失業保険申請件数	11.0

USD/JPY (5年間)



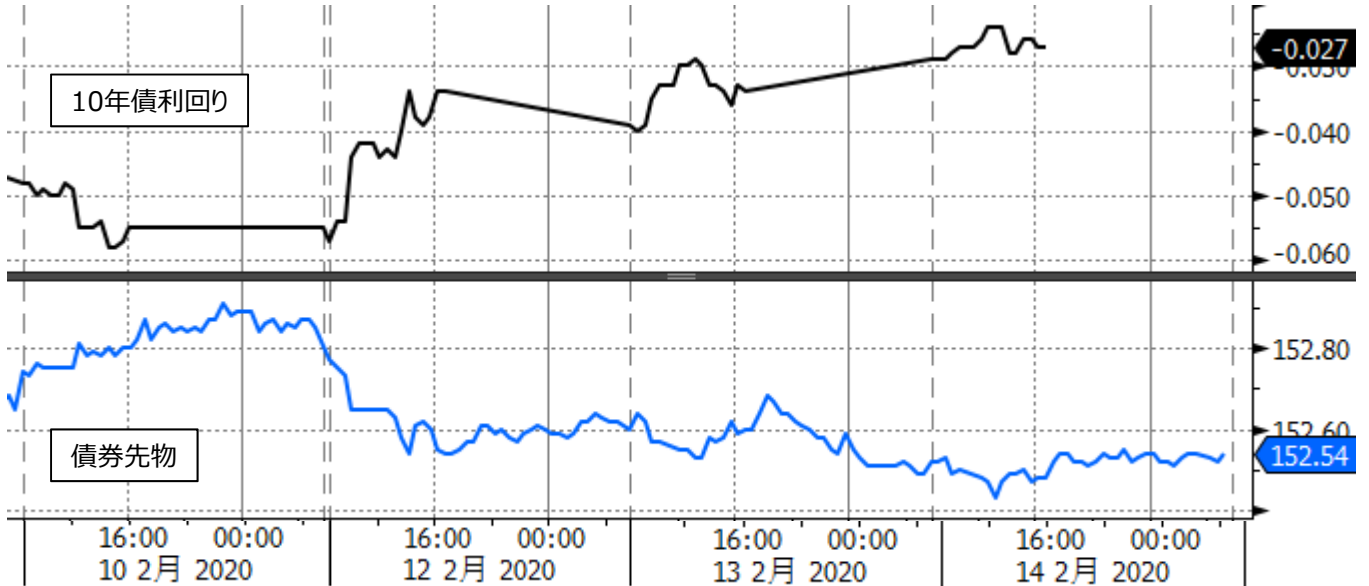
今週のレンジ予想 (USD/JPY)

予想者	今週のレンジ	予想のポイント
浅川雅也	108.00 - 110.00	国内での新型コロナウイルス感染拡大は日経平均の重しとなり、円高圧力が徐々に強まる展開を予想する
梅村隼人	108.50 - 110.30	新型肺炎の拡散懸念が根強く、上値が重たい展開を予想。FOMC議事録、フィラデルフィア連銀景況指数等には注視したい。

2. 円金利相場概況

景気減速懸念から金利上昇余地は限られる

10年国債金利と債券先物（1週間の値動き）



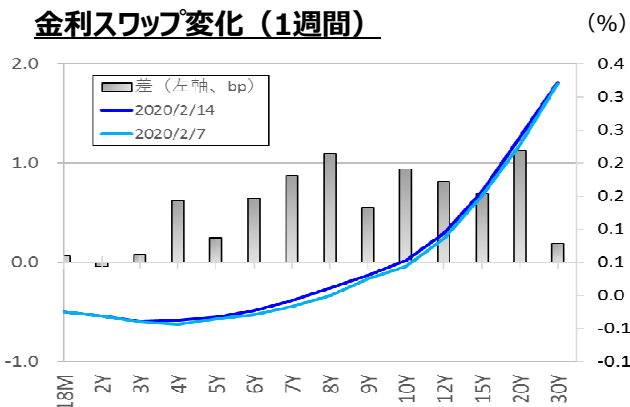
GJGB10 Index (日本国債10年) JGB.F 20 日 30 分 Copyright© 2020 Bloomberg Finance L.P. 17-Feb-2020 07:23:32 (出所) Bloomberg

コメント

先週の本邦長期金利（10年債利回り）は一時▲0.05%台まで低下したものの、週後半に▲0.02%台まで上昇する展開となった。週初は新型コロナウイルスの感染拡大による景気の先行き不透明感から、債券が買われ円金利は▲0.058%まで低下。しかし12日には中国国内の感染拡大ペースが落ちたことやパウエルFRB議長が「景気は穏やかなペースで成長している」と発言した事を受けてリスクオフムードが後退した事から米債利回りが上昇し、つられて国内金利も▲0.027%まで上昇して週の取引を終えた。今週は21日(金)まで日銀の国債買入オペが無い中で国債入札（5年債、20年債）が続くことから、需給のゆるみが懸念され債券価格の上値は限定的と予想するが、新型コロナウイルスの感染拡大による景気減速懸念も残る事から引き続き安全資産である債券買いも継続し、国内金利は上昇しにくい展開になるだろう。

(市場営業部/川合)

金利スワップ変化（1週間）



5年円金利スワップ推移（5年間）



今週のレンジ予想（10年国債利回り）

予想者	今週のレンジ	予想のポイント
高野一歩	▲0.06% - ▲0.01%	先週末の海外長期金利は低下しており、また新型コロナウイルスへの懸念継続により、国内長期金利も上昇しづらい展開を見込む。
小野口裕美子	▲0.07% - ▲0.02%	5年債、20年債と入札が続く需給が緩む場面もある可能性あるものの、新型コロナウイルスのニュースでリスクオフに振れやすい状況。

ご留意事項

- ・本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の申し込みでも、取引締結の推奨でもなく、売買若しくは何らかの取引を行うことを助言したり、または勧誘したりするものではありません。
- ・本資料の内容につき、当行はその正確性及び完全性を保証するものではなく、一切の責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身のご判断をお願いします。
- ・本資料に基づき、お客さまが投資のご判断をされた結果に基づき生じた損害・損失等については、当行は一切責任を負いません。
- ・本資料は著作物であり、著作権法により保護されております。無断で本資料の全部または一部を複製、送信、転載、譲渡および配布することはできません。
- ・本資料に掲載された各見通しは本資料作成時点での各執筆者の個人的見解に基づいており、それらは必ずしも当行の見解を反映しているとは限らず、また、予告なしに変更される場合があります。



商号：株式会社あおぞら銀行（登録金融機関 関東財務局長（登金）第8号）
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会